

A scenic landscape photograph showing a calm body of water in the foreground, reflecting the surrounding environment. In the background, a dense forest of trees covers a hillside, with some trees displaying vibrant autumn colors of orange, red, and yellow, while others remain green. The reflection of the trees and the sky is clearly visible in the still water. The overall atmosphere is peaceful and serene.

2025年10月19日
10月第三主日礼拝式
＜千葉宣教区講壇交換礼拝＞

「誰でもキリストの内に」

(コリントⅡ 5:17)

だれでも キリストの内にあるなら

その人は 新しくつくられた者

古(ふる)きは 過ぎさり

すべてが新しい

主のうちにあるなら

すべてが新しい

118 威光・尊厳・栄誉

世界中 どこでも 新しい 歌をささげよ
主に歌え ほめたたえよ
み救いの知らせを告げよ
まことに主はおおいなる方
賛美されるべき方
威光と尊厳と栄誉 光栄と力
ただ主だけを礼拝せよ
天を造り 支えている主

新聖歌316番 「御言葉なる」

1 御言葉なる 光のうち 主と共に歩まば
行く道すじ 照らしたまわん より頼む われらに

* げに主はより頼みて 従(したご)う者を 恵みたまわん

2 み顔の笑み 輝くとき 雲 霧(きり)は消え行き
疑いなく 憂いもなし より頼む われらに (＊)

3 祭壇に行き 身も心も ささぐると 同時に
喜びをば 満たしたまわん より頼む われらに(＊)

4 いかにかよき 交わりぞや 妨(さまた)ぐる ものなし
昼も夜も りんざいあり より頼む われらに (＊)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌397番 「神の御子にますイエス」

1 神の御子にます イエスのために
罪を敵として 立つは誰(たれ)ぞ

* すべてを捨てて したがいまつらん
わがすべてにます 王なる主イエスよ

2 富(とみ)の楽しみと 地の位(くらい)に
目もくれずイエスに つくは誰(たれ)ぞ (＊)

3 罪にとらわれし たましいをば
イエスに連れきたる 勇士は誰(たれ)ぞ (＊)

【次】

新聖歌397番 「神の御子にますイエス」

4 わが持てるものは 主よ汝^(な)がもの
きよき御戦^(みいくさ)に もちいたまえ

* すべてを捨てて したがいまつらん
わがすべてにます 王なる主イエスよ

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン